

山行報告

■伯耆大山

<アルプ>

- 日 程：3月15日(水)
- 参加者：L竹内 SL須増 尾内 尾越 笹木 春本 福田
- 行動記録：宝殿駅 6:00 発一大山駐車場(8:30 着)9:01 発～夏山登山口 9:08 発～5 合目 10:35 着発～6 合目避難小屋(10:55 着)ピッケル準備 11:12 発～頂上避難小屋(12:07 着)～大山(弥山)～頂上避難小屋(12:30 着)昼食 13:00 発～6 合目避難小屋(13:29 着)13:40 発～5 合目(13:45 着)～夏山登山口(14:34 着)14:39 発～駐車場(14:42 着)

◆お天気に恵まれた最高の雪山 伯耆大山に登る

福田

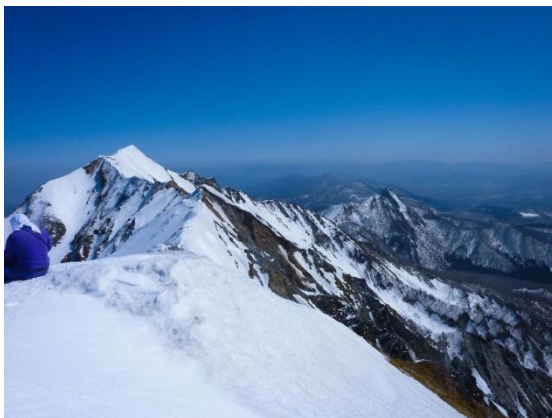
登山前日、気象の担当者さんから明日のお天気は晴れとメールをいただきました。日本海沿岸という地理的条件から厳冬期の大山は晴天率が極めて低いことで有名なんです、私たちは超ラッキーです。

翌早朝、宝殿駅に集合し2台の車に分かれて出発。駐車場に着くとすでに20台以上の車が停められています。私たちもストレッチの後夏山登山口よりスタート。ここ数日の陽気で溶けた雪が夜中に凍って雪道はツルツル。歩行開始より5分ほどでアイゼンを奨着しました。

しばらくはよく整備された石階段を登っていきます。2合目あたりで衣服調整。暑くてニット帽子やジャケットは着ていられません。雪の反射で眼もチカチカ。サングラスをつけ、日焼け止めを塗りなおし。いつもの雪山登山とまるで違うシチュエーションです。

標高1100m地点の道標に到着すると背後には鳥取市街地とうっすらと日本海。そして大山の北壁がドーン！と見えました。最高！！

6合目避難小屋からは傾斜がきつくなるためストックからピッケルへ持ち替えるようリーダーから指示が。気持ちが引き締まります。稜線にでるためハードシェルも着込みます。さあ、山頂めざしてGO。



急な斜面から続く北壁と剣が峰への雪稜。真っ白な雪と黒い岩肌。そして青空と感動的な美しさです。目の前の絶景に背中を押されるようにして山頂へ到着。全員で記念撮影した後は弥山に挑戦です。

剣が峰までは行きませんが弥山までの稜線上を歩いている姿は全員ベテランアルピニストの様。各々めちやくちやかっこのいい写真が撮れたのではないのでしょうか？山頂の避難小屋で昼食をとった後は名残惜しいですが下山です。目の前の絶景にうっとりしながらもしっかりとピッケルを使っていきます。途中スノーボードを担いで登っているグループとすれ違いました。現代の三浦雄一郎ですね。

今回、このような最高のお天気の伯耆大山 雪山登山はずっと私の記憶に残る例会になると思います。リーダーさん、ドライバーさん、参加者の皆様、感謝！！

■紀泉アルプス縦走

〈女性委員会〉

- 日 程：3月21日(火・祝)
- 参加者：A班 L 乙坂 SL 木村 尾内 黒本 笹木 佐野
B班 L 藤原 SL 小田 瀧原 苦瓜 橋本(万) 福原 待場 松本(聡) 村上
- 行動記録：山中溪駅 10:10 発～第1パノラマ台(10:50 着)11:00 発～昼食(11:50 着)12:15 発～雲山峰(13:15 着)13:30 発～青少年の森広場(13:50 着)～四ツ辻(14:00 着)～紀ノ川 SA(15:25 着)16:05 発～紀伊駅(16:27 着)

◆紀泉アルプス縦走に参加して

黒本

今回は、紀泉アルプスの部分縦走で山中溪駅から紀伊駅までの雲山峰ハイキングコースを歩きました。前日の晴天とは打って変わり、朝から曇り空で天気予報も曇りのち雨で少し気乗りしない出足となりました。

青春18切符でJR線を乗り継いで阪和線山中溪駅で下車。溪谷にある無人駅で、線路沿いには、1,000本の桜並木があります。今回は、時期が少し早かったようで咲いていませんでした。駅から少し歩き空き地で、役割分担の確認・ストレッチの後出発。登山口には、ハイキングコースの立派な案内板が設置されていました。少し急斜面の自然林の樹林帯を登ります。周りの山に咲き始めた山桜・ツツジを眺め、野鳥の姿無きさえずりを聞きながら、春の山歩きを楽しみました。稜線に出た所に大阪湾が一望出来る第1パノラマの展望台があり、関空・遠くに六



甲山・明石海峡・淡路島が望めました。天気の良いければ、明石海峡大橋も見えると思いますが、残念ながら今回は見えませんでした。緩やかな稜線歩きが続きましたが、木々で見晴らしは良くありません。小雨が降り出し、早めの昼食を摂りました。雨対策をして出発、和歌山県の雲山峰に着

く頃には止んでいました。途中の府県境は気付かずでした。紀泉アルプス最高峰雲山峰(490m)には、小さな祠があり、側に綺麗な紅白斑入り八重樺が咲いていました。その後は、展望の良い所で、蛇行する紀の川の下流の市街地を見渡すことができました。広場になっている六角堂からしばらく歩くと、急な下り坂と、道幅も狭くなり注意して歩きました。下山口側の紀の川SAで少し長めの休憩後、紀伊駅まで20分程歩き、帰りの電車も皆さん座ることができ帰路につきました。

和歌山県に入ってから、そこら中地面を掘り起こした跡があり、尾根筋が崩れそうな所もありました。大きな倒木も多かったですが、登山道はよく整備されていました。

久しぶりの県外山行で、天気はいまいちでしたが、春を感じながら、気持ち良く山歩きができました。少しずつ遠くの山も楽しめたらと思います。お世話になりました。

活動時間約6時間半。歩いた距離約10km、約23,000歩。上り635m、下り639m。

■和気アルプス

<女性委員会>

- 日 程：3月25日(土)
- 参加者：A班L徳本 SL島谷 泉 岡田(淳) 岡林 香川 中村
B班L木村 SL安田 坂本 立花 苦瓜 松田 三木(知)
- 行動記録：和気駅(8:54着)9:15発～登山口(9:25着)～和気富士(9:45着)9:55発～観音山(10:15着)10:20発～前ノ峰(10:55着)～涸沢峰(11:15着)11:35発～奥の峰(12:05着)12:10発～神ノ上山(12:40着)12:50発～鷲の巣(13:10着)13:15発～和気中(13:45着)～和気駅(14:20着)

◆花盛りの春の和気アルプス

立花

姫路から、岡山行きの黄色いJRに乗って和気駅へ。車窓から見えた山には、ちらほらと、ピンク色が見える。「ツツジかな」と、話しながら電車は通り過ぎる。春の気分で、心弾む。窓から、桜も、あちこちで咲いているのが見える。そうしているうちに、のどかな和気駅に着く。

前半ストレッチの担当が当たっていたので、少々緊張ぎみの私。ハイキングABCの本に載っていた、山の体操のページの写真をスマホに入れてきてよかった。それをチラ見しながら、任務を何とか終え、ホッとす。後は山歩きを楽しもう。

歩いていくと、目の前に、綺麗な形の山が見える。「あれが、和気富士よ、」と教えてもらう。富士と名前に付いているだけに、山の形が、美しい。

歩いて行くと、小さな神様が祀ってあり、手をあわせて通り過ぎる。山行に行くと、多くの



山で、神様に会える。これも最近では、山に登る楽しみの一つとなってきた。

登り口に、看板が見える。『健康作りの路 案内図』。それを見ると、今日私たちが登るルートは、上級者向けと書いてある。気持ちも引き締まり、登り始める。

すぐに美しいツツジが見えてきて、

心が弾む。それも、幸運なことに、一番見ごろの、綺麗な咲きっぷり。それに加えて、歩く足元には、美しい椿の絨毯。絨毯だけではない。上を見上げると、しっかり椿が咲いている。どうやら、椿とツツジのベストシーズンみたいだ。

山行は、なかなか急な箇所もあり、刺激もあり、お花がいっぱいの和気アルプス。一步早い春を満喫できました。今日も心と体がすっきりと、楽しい一日になりました。

リーダーさんはじめ、お世話をしてくださった、皆様、本当にありがとうございました。

■白山・妙見山

●日 程：3月29日(水)

●参加者：A班L垣内 SL小田 岡田(淳) 坂本 山本(清)
B班L須増 SL春本 黒本 敷田 徳本 西脇

●行動記録：前坂隣保館 9:05 発～展望岩(9:40 着)9:45 発～白山(11:00 着)11:40 発～妙見山(12:40 着)12:45 発～白山(13:35 着)13:40 発～展望岩(14:45 着)14:50 発～前坂隣保館(15:15 着)



◆春爛漫 白山・妙見山を歩く

岡田(淳)

山行当日は朝から快晴。ただ天気予報の花粉情報は「とても多い」。また白山も妙見山も標高500m以上で、先日登った和気アルプスに比べ200m以上高い。花粉症持ちの初心者である私はこの二つを気にしつつ集合場所の黒田庄隣保館に到着、満開の桜の大木に出迎えられた。

登山道のシダよけにスパッツを装着し、大歳神社登山口から出発。急坂を登り疲れた頃に展望岩に到着。登山道横に横たわる巨大な岩の上からの眺めは抜群で、近くの黒田庄の街並みも遠くの間々も一望できるが、そう遠くない景色まで霞んで見えるのが気がかりだ。花粉？黄砂？少しずつ鼻がむずむずしてくる。



ここからは白山目指してゆっくり登りながら尾根道が続いている。足元は道の両側にシダが茂り、足を踏み出す度に枯れた葉から胞子が舞い上がる。片側が斜面の幅の狭い道が続きよそ見はできないが、あちこちに咲いているツツジやウグイスの声に山の春を実感する。

リーダーから向こうにタムシバが咲いていると言われて見ると、木立のすき間から白い花をたくさんつけた木が見え隠れしていた。コブシとよく似たモクレン科の木で、コブシは花の下に小さな葉が一枚つくがタムシバはつかないという違いも教えていただいた。初めて知ったタムシバ、帰宅後調べると、「タムシバは山に春を告げる花、コブシは里に春を告げる花」だそうだ！

白山の手前の急な岩場を這い上り、やっと頂上かと一瞬喜んだが道がカーブしていて勘違い、もうひと頑張りして白山の頂上に到着。見晴らしがとても良い。休憩し少し早めの昼食タイム。展望岩よりさらにスケールの増した景観に疲れが吹き飛んだ。

さて、このころから鼻水の状態がかなり怪しくなってきた。かめどもかめどもすぐに鼻がぐすぐす…。ここから先、症状はどんどん悪化していき、ティッシュでは間に合わず（ゴミもたまるし）ハンカチを次から次へ投入していくことになった。（トホホ）

白山から妙見山に向かう道はなだらかな尾根道だが結構距離があり、変化の少ない道に疲れるといった感じだ。十字路を過ぎ妙見山が近づくと道は林の中の急な斜面の登りになり、これが結構しんどかった！しかしそれを過ぎるといきなり妙見山の頂上に出て拍子抜けした。頂上からは山以外何も見えないのですぐに下山開始。妙見山から白山までの道で三組の登山者と出会う。行きは誰とも出会わず、静かな山である。個人的にはなかなか来にくいなと感じ、参加して良かったと思う。

深い谷の下の方に見える満開の桜。これは山に登ってきた者へのご褒美だ。道の脇にうつむきかげんで咲いていたショウジョウバカマの可憐でけなげな姿にも心惹かれた。

白山を過ぎてからのやや急な下りで二度足を滑らせ尻餅_(._.)_。初心者の未熟さを露呈してしまい恥ずかしかったが、花粉症で集中力が無くなったせいにしておきたい。頼りになる優しい先輩方に導かれ、春の美しい山を満喫できたただただ感謝です。

■お旅山と防災プラザ見学（体験）

- 日 程：3月30日(木)
- 参加者：L島谷 SL森本 江崎 仲田 橋本(万) 春本 平井 松田 三木(知) 村上
- 行動記録：山陽電車妻鹿駅 9:00 発～登山口 9:30 発～お旅山山頂 10:20 発～
国府山登山口 10:40 発～国府山南下山口 11:30 発～兼田公園(11:45 着)
12:10 発～防災プラザ(12:50 着)見学・14:00 発～手柄駅(14:15 着)

◆お旅山と防災プラザ見学

三木(知)

姫路で生まれ育って生活していますが、灘のけんか祭りは縁がなく浜国道を通り過ぎるだけでした。もっと地元のを登りたい、知りたいと思い参加しました。この時期は毎年、花粉症が酷く外出は控えており少し不安を抱えて山電妻鹿駅に集合しました。

リーダーさんの詳細な説明を聞きながら屋台蔵、黒田官兵衛の父、職隆の墓を通って妻鹿の村を歩きます。お好み焼き屋さんや昔ながらのスーパーなどが残っており、また機会を作ってゆっくり散策したいなと思いました。

9時半、いよいよ登山スタート。御旅所前はけんか祭りの際、屋台を担ぎ上げて神事を行う場所で、坂道を登る様子を想像するだけで迫力を感じました。ごつごつした山肌の山道を歩き



始めると、満開の桜と山陽電車が見えました。撮り鉄には最高のアングルです。飾磨高校のブラスバンド部の練習も聞こえてきました。つつじも満開です。育みの森を通ってかえる岩を見てお旅山 10時20分到着。360度のパノラマで播磨の山々、もちろん高御位山、姫路城も見えました。氷ノ山も見えることもあるそうです。

下山して国府山（こうやま）を目指します。いたるところに史跡があり黒田官兵衛ゆかりの山とのことで

す。お旅山と違って歩く人は少なく道は整備されていますが、ちょっと寂しい感じでした。

兼田公園でお昼をしてから、三左衛門堀の桜を見てひめじ防災プラザに着きました。いつか防災について学びたいと思っていたので良い機会でした。災害体験ゾーンでは迫力ある 3D 映像、音響、ボディソニックなど特殊演出装置による体験、また防災体験ゾーンで模擬消火器を使って消火活動をしました。視界を遮る煙の中を避難する方法も学び暗視カメラ装置で後から自分の姿勢をチェックしました。

阪神淡路大震災、東日本大震災そして、南海トラフ・・・災害はいつどこで発生するか予測できません。総合的な学習を体験でき勉強になりました。我が家の備蓄品は賞味期限切れがありチェックすることが出来ました。

春満開の山歩きと大人の社会見学、充実の一日でした。リーダーはじめ、メンバーの皆さまありがとうございました。



■文殊山(もんじゅさん)365m

<ゆっくリズム>

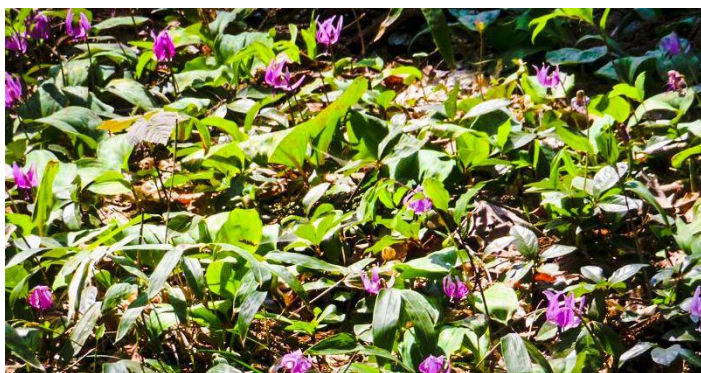
- 日 程：4月1日(水)
- 参加者：A班L藤原(千) SL中村 黒本 澤田(律) 徳本 橋本(万) 福原
B班L尾内 SL春本 小田 笹木 佐野 村上
- 行動記録：大土呂駅 11:10 発～文殊山登山口(11:30 着)11:35 発～小文殊(12:45 着)12:50 発～文殊山(13:15 着)13:45 発～奥の院(14:05 着)～橋立山(14:45 着)14:55 発～酒清水登山口(15:30 着)15:35 発～北鯖江駅 SA(15:40 着)16:20 発～北鯖江駅(16:40 着)

◆春の野花に会いたくて

中村

春の野花に会いたくて、電車を乗り継いで 4 時間余り、遠く越前まで来た。

予想以上の沢山の小さな花たちが「よく来たね！」って迎えてくれた。どの花もけなげでかわいくて、魅せられてしまった。タチツボスミレ、イカリソウ、ネコノメソウ、椿、モクレン、カタクリ、イワカガミ、ワサビ、セリバオーレン、ヤマブキ、そしてΣ(°Д°)私のメールアドレスのエンレイソウまで。



山頂には古いお堂があり、文殊菩薩が祀られているらしく、合格祈願などの絵馬も掛けられていた。地域の方々に愛されている印象を受けた。登ってきた登山道も幅広く降りてくる登山者とも難なく行き交うことができた。

春の花満載で、うららかな一日を過ごすことができ、楽しかったです。導いてくださったリーダーをはじめ、ゆっくりリズムのメンバーの皆様、ありがとうございました。



■的形ふるさと里山回廊

<女性委員会>

- 日 程：4月1日(土)
- 参加者：A班 L安田 SL松下 江崎 敷田 松本(聡)
B班 L木村 SL島谷 阿部 生永 立花 松田
- 行動記録：山電的形駅 9:00 発～柳池公園(9:05 着 ストレッチ)9:15 発～坂の山(9:35 着)9:40 発～大日山 10:00 発～青の山(10:15 着)10:20 発～青の山南登山口 10:35 発～高坪山(10:50 着)11:00 発～副圓寺 11:20 発～小赤壁 11:35 発～福泊海浜(11:45 着 昼食)12:15 発～行基が鼻 12:45 発～的形駅(13:20 着)

◆山と海の春を的形で満喫

阿部

初めての的形駅で降りて不安半分、ワクワク半分で出発しました。

柳池公園で体操をしている時から、皆さんが『暑いわねえー』と声が聞こえる程、良い天気でした。

登山道は見事に整備されていて、大きな木には名札が付いていて感心しながら登り始めました。山行は久しぶりなので、Lの次に歩かせて貰って安心して登り始めました。里山で余り高く無いので、坂の山、大日山、青の山と順調に進んで行きました。山桜は殆ど終わってましたが、花びらが山道に落ちていてまるで花びらの絵画の上をずっと歩いているみたいでした。ツ



ツジが満開で何箇所もトンネル状態を通り抜け綺麗でした。青の山から下山する所は、竹の上から太陽が降り注いで京都の竹林を思い出しました。国道を渡って高坪山迄が少し急登があり、あと少しの所で息切れしてしまいました。運動不足です。高坪山では、城を探して楽しい時間を過ごしました。小赤壁を眺めて八家地蔵をお参りしてマリーンベルトで、久々のおにぎりランチです。Lから金柑を頂きビタミンCチャージ!!次に登る礒山でパラグライダーをして

いるおじ様がいて、何と20分以上操縦をして空の上に8の字を描いて鳥状態になっていました。

行基が鼻から礒山を経て下山し、地元の昔ながらのお煎餅屋さんに寄って、自分にご褒美を買いました。

ご一緒した会員の方々も優しくして頂き、LやSLさんにもお世話になりました。春爛漫でした!!

■新竜アルプス

●日 程：4月4日(火)

●参加者：L上田 SL平井 泉 黒本 坂本 瀧原 徳本 苦瓜 待場

●行動記録：播磨新宮駅9:45発～市野保10:10～水布弥登山口(10:23着)10:28発～十字路(11:02着)11:04発～祇園岳(11:12着)11:25発～十字路 11:30～亀池(12:00着)12:18発～城山(12:44着)12:51発～三基墓(13:00着)13:03発～382.7mピーク(13:56着)13:59発～的場山(14:35着)14:50発～両見坂(15:23着)15:26発～竜野城跡(15:40着)15:45発～本竜野駅(16:55着)

◆新竜アルプスを歩く

泉

天候が気になっていたが、当日は晴れ。少し風があり気温も気持ち良い。集合時間より30分程早く着くように家を出、JRはりま勝原駅に向かう。朝の通勤時間帯と言えホームには大勢の人が溢れ、改札を通りアナウンスを聞くと電車が止まっている！山陽本線の踏切で車が立ち往生。竜野駅に電車が止まったままなのだ、と分かった。これでは8:10姫新線ホーム集合に間に合わないと判断し、姫新線の本竜野駅で合流したいとリーダーさんに連絡し許可を得て車を出す。走り慣れた道なのでスムーズに駅に着き、皆さんと無事に合流できて一安心。ほかの皆さんも電車で遅れがありギリギリだったと聞き驚きました。間に合わなかった人もあり、新宮駅で話をしながら次の電車の到着を待ちました。参加者9名が揃い駅を9:45に出発。私の自宅から20分程で来る近くの山だが今回の揖保川の西側の山には初めて登る。新宮駅から田畑の広がる中に出来た迂回道路を気持ち良く30分ほど歩き登山口の前でストレッチして出発。すぐに急登になり伸びたシダをかき分け崩れたままの細い道に気を付けながら、ひたすら30分



程登りやっと十字路に着く。そこから一つ目の山、祇園岳へは10分程の急登で辛かったが目線を上げれば山ツツジの薄紫色の花が励まされました。340.4mの祇園岳山頂は切り立った崖があり、荒々しく感じました。リーダーさんの「ここが済んだら後はそんなに急な登りはない。」との言葉でしたが、そんな事はなく続きました。少し下った所にエメラルドグリーンの水を蓄えた人工池・亀池があり、その土手で15分余りの昼食休憩を済ませ城山に向け出発。

458mの亀山(城山)に30分で到着、そこから下った所に墓石らしきものが三基あり看板がたっていた。【播磨国守護赤松満祐が1441年に幕府軍に攻められ、この地で自害した】と書かれていた。【城山城は県下唯一の古代山城として、また播磨屈指の中世山城として大変貴重な遺跡である】と記されていた。その場を後にし389m～382.7m～415mと下っては登り、また下りを繰り返し394.2m的場山まで南下してきました。的場山からは急な下り坂、むき出しの木の根と岩で躓かないよう気を付けて足を置きながら下り終えると両見坂に立派な大きい石灯籠があり写真を一枚。最後に218m鶏籠山を登り返してから下り、ようやく竜野城跡に着きました。17.7km6時間の新竜アルプスを歩き切ったご褒美に綺麗な枝垂桜が出迎えてくれました。竜野城跡の庭でストレッチをしてゆっくりと桜を眺め、眼下の揖保川と竜野の街並みを眺めてから本竜野駅への最後のウォーク。無事駅に着き皆さんは電車に、私は車で帰路につきました。近くの山を知る良い機会でした。リーダーさん皆さんありがとうございました。

■小富士山と古墳ロード桜巡り

●日 程：4月6日(木)

●参加者：L森本 SL兼本 阿部 松田

●行動記録：JR御着駅9:00発～上鈴公園(9:20着)9:30発～中鈴天満宮(9:40着)9:50発～宮山古墳(10:15着)10:40発～小富士山(11:20着)11:45発～見野古墳群(12:30着)12:50発～本郷公園(13:30着)13:40発～うまいもん横丁(14:00着)15:00発～JR御着駅(15:15着)

◆「小富士山と古墳ロード桜巡り」

松田

私がこの山行を申し込んだのは、私の憧れの「富士山」の名前が付いていること、小富士山は、私が元旦に毎年登っている麻生山の別名で、私がいつも登る所と違う所から登ることに興味を持ったことからでした。

当日の天気予報は雨でしたが、はずれて山行日和で嬉しかったです。9時にJR御着駅を出発しました。始めに播磨国分寺跡に向かいました。歩いている道は、旧山陽道である事を知りました。落ち着いた家並みで、その昔は国分寺にゆかりの方の子孫が住んでいるのかもしれないと思いながら歩きました。あちらこちらに、まだ咲いている桜の木があり、桜はもう散っているという予想がはずれ、楽しませてくれました。昨日の雨にも頑張ってくれた桜に感謝しました。

上鈴公園では、公園一面の桜の花びらの絨毯が、迎えてくれました。次に宮山古墳。直径30mの大きな古墳でした。まるで小山のような古墳でした。こんな大きな古墳の上に登ったのは初めてでした。それから、すぐ横にある埋蔵文化財センターに行きました。たくさんの展示物がありました。市内各所から発掘された埋蔵物を保管し、それを整理・分析・復元し、情報発信しているそうです。出土品の中で特に有名なのは、「金製垂飾り付き耳飾り」だそうです。展示はされていなかったのが、残念でした。

いよいよ次は、小富士山です。小富士山は、なだらかな所、急な所、藪の中、岩場、、私にはちょうど良い変化に富んだ山でした。最後には、ツツジが両脇に咲いていて、ツツジロードを歩きました。174mの小富士山の頂上で昼食。とても風が強い日だったので、お弁当が飛ばされないようにしっかり持って食べました。

登った所と違う所を下り、次に見野古墳群に行きました。こちらは宮山古墳と違って小さな古墳がたくさんありました。約 20 基が知られているらしいです。珍しいのは2つで、1つは6号墳の「夫婦塚」(双室墳)です。夫婦が一緒に入ってたのかと想像しました。もう1つは10号墳で巨石です。明日香村の「石舞台古墳」になぞらえて「姫路の石舞台」と呼ばれているらしいです。素晴らしかったです。そして、こんな大きい石を運んだ昔の人の凄さに敬服しました。

次に、足をのばして、小富士山の東にある南山の麓にある本郷第一公園に行きました。それは途中にある長塚古墳を見るためでした。その古墳は、田んぼの中にありました。「農作業の邪魔になるのちがう?」「大事に今まで保存している事にビックリやな!」と思い思いの感想を言いながら見てました。この長塚古墳は一番はじめに見た宮山古墳に納められた首長の孫にあたるのではないかと考えられているそうです。歴史があるなと思いました。

本郷第一公園から帰路につきました。

今回の山行は、リーダーも桜が散っていると不安になられていましたが、桜も十分に楽しめつつジマで楽しめて良かったです。

小富士山の山行も良かったです。古墳の凄さに感動して帰ってきました。行くまでは古墳のことは考えてなく、山登りのことだけしか考えてなかったのです。こんな歴史のある素晴らしい古墳に出会わせてくださって有り難うございました。また、ゆっくり、古墳巡りをしたいと思いました。



■ 23年 高御位山遊会花見会

- 日 程：4月8日(土)
- 場所・時間：鹿島自然公園(公園墓地の上広場)・12時
- 参加者：37名(詳細略)

報告：砂川(延)

例年、この時期、桜の花開花に合わせて日程を決め行っている。今年は行事の都合から4月8日となったが、開花が早く、葉桜下での花見会ではと心配したとおり、場所によってはまだ満開も見られる状況だったが、開催場所の桜はすでに葉桜状況での花見会となった。

開会時間の12時前になって場所に例年通り荘所さんにシートをお願いして、敷いてもらっていたが、突然、雨が降り出し、びしょ濡れになってしまった。空を見ると通り雲のようで、雲が流れていたの少し時間を空ければ止むと思った通り、しばらくすると雨も上がり、テントシートを裏返して場所の設定をやり直して着席し、ほぼ時間通りに始めることができた。



【写真提供・尾内】